

# 日経225<sup>\*</sup>が、 もっと身近に。

9月30日、くりっく株365に  
「日経225マイクロ」が追加上場！

※日経平均株価(日経225)



## 日経225マイクロ VS 日経225

取扱商品	日経225 マイクロ 証拠金取引	日経225 証拠金取引
原資産	日経225(日経平均株価)	
取引単位 / 枚	日経平均株価 × 10円	日経平均株価 × 100円
想定元本 (注1)	387,130円	3,871,300円
証拠金基準額(参考値)(注2)	9,860円	98,560円
呼び値	0.1円	1円
最小変動幅	1円	100円

(注1) 想定元本は日経225証拠金取引の7月31日取引日における清算価格「38,713円」を基にした1枚あたりの金額

(注2) 日経225マイクロ: 7月31日適適用額を1/10にした参考値、日経225: 7月31日適適用額



日経225マイクロも、魅力はそのまま ワンだふる!!!

### ほぼ24時間、祝日も

取引時間は朝8時30分～翌朝6時(注3)。海外市場の取引時間をカバー。深夜でも相場の連続性を保てます。日本の祝日も取引可能(注4)

### 売りからもOK!

売りからも取引ができるので、下落局面でも利益が狙えます。

### 配当あり

買いポジションを保有することで株価指数ベースでの配当相当額を受け取れます。売りポジションで支払いになります。

### レバレッジ取引

預けた証拠金を担保にレバレッジを利かせて効率よく取引できます。ただし、大きな利益が期待できる反面、思惑が外れると大きな損失を被る恐れがあります。

(注3) NY夏時間適用時は翌朝5:00まで。取引最終日が到来した銘柄については当日15:25まで。

(注4) 1月1日(この日が日曜日の場合は1月2日)を除く。



# くりっく株365 取引のリスクについて

「くりっく株365」(取引所株価指数証拠金取引)には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「くりっく株365」取扱会社より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「くりっく株365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

## 【価格変動リスク】

対象指標である株価指数の価格、または上場投資信託(以下「ETF」)の価格の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きい場合、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。また、「くりっく株365」の価格は現物の株価指数やETFの価格そのものではないため、需給関係、相場の状況等によっては乖離が拡大し、その結果、現物の株価指数やETFの価格から想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

## 【為替リスク】

海外株価指数証拠金取引については、投資家は為替リスクを負担しませんが、マーケットメイカーが、自己の負担する為替リスクを勘案して買呼び値及び売呼び値を提示するため、為替相場の状況によってはスプレッドが拡大し、想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

## 【予想配当に関するリスク】

配当相当額は、指数構成銘柄の権利付最終日における予想配当に基づき、その後の株価指数の値に与える理論上の影響値として、東京金融取引所(以下「TFX」)が算出するものです。したがって、「くりっく株365」に係る配当相当額は、実績配当に基づき算出される配当相当額や指数構成銘柄の現物株についての予想配当及び実績配当とは異なります。

## 【対象指標ETFの投資口併合等に関するリスク】

対象指標のETFについて投資口の併合若しくは分割又は上場廃止等(以下「ETFの投資口併合等」)が行われる場合、TFXが、当該ETFを対象指標とする取引所株価指数証拠金取引を停止し、上場を廃止又は休止する措置を行うことがあります。この場合において、投資家が建玉を保有し、所定の期日までに反対売買を行わないときには、当該建玉は強制的に決済され、その時点での相場によっては損が実現することがあります。また、ETFの投資口併合等の内容・状況によっては、TFXにかかる措置の決定・通知から強制決済までの期間が短いことがあります。

## 【金利変動リスク】

金利相当額の計算には円や外貨の金利が適用されることから、当該金利水準が変動すること等により、保有する建玉の金利相当額の実受額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。

## 【流動性リスク】

「くりっく株365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットして取引が成立する方式を取っています。その為、状況(天変地異、戦争、政変、各国の法制や金融政策・規制の変更、株価指数の構成銘柄を上場する各取引所の制度変更、当該指数を原資産とする先物取引に係る取引制限、各国の商品市場等に係る政策・規制の変更、ETFを上場する各取引所の制度変更・取引制限、ETFに関連する商品先物取引に係る取引制限、情報配信の遅延・停止、相場の激変等)によって、マーケットメイカーによる買呼び値及び売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能又は困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができない等、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。なお、平常時においても流動性の低い株価指数やETFの取引を行う際には、希望する価格での取引ができない等の不利益を被る可能性があります。

## 【信用リスク】

「くりっく株365」においては、投資家の取引を受託する「くりっく株365」取扱会社に対しTFXが取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額TFXが分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「くりっく株365」取扱会社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱会社が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

## 【システム障害等リスク】

TFX及び「くりっく株365」取扱会社のシステム、または投資家、取扱会社、TFXの間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

## 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

「日経平均株価」は日本経済新聞社が、知的所有権等一切の権利を有します。日本経済新聞社は本商品のスポンサー、保証、販売促進を行っておらず、東京金融取引所の株価指数証拠金取引に一切の義務ないし責任を負うものではありません。



株式会社 東京金融取引所

東京都千代田区丸の内1丁目8番2号鉄鋼ビルディング8階

URL <https://www.clickkabu365.jp/>

E-mail [info@tfx.co.jp](mailto:info@tfx.co.jp)